

竹川病院 井上 裕太(理学療法士)

功 績 理学療法士としての専門性を発揮し装具療法に最適な収納棚を自作した功績。

推 薦 者 可児 利明

推 薦 理 由 自身の専門性だけにこだわらず、柔軟な発想で過去の経験を活かし、環境を整えることで日々の業務に貢献したいと、部門にとって大切なことを提案してくれました。作成してくれた棚には理学療法士としての専門家の視点が組み込まれています。整理整頓されたことで使いたいときにすぐに使えるようになったこと、大きなコストダウンにもつながったことから理事長賞に推薦させていただきます。

内 容

当院は入院患者の約七割が脳血管疾患障害の患者さんであり、その回復過程は早期より長下肢装具を使用しての立位・歩行練習が推奨され、ガイドラインでもグレードAとされています。そのため装具療法には積極的に取り組み、義肢装具学術大会では9年間継続して発表を行っています。

継続しての取り組みにより、備品の数も増え、新しい機器を導入したり、患者さんから使わなくなったものを寄付していただいたりと、限りある保管スペースでの整理整頓に頭を悩ませておりました。市販の棚に収納してきましたが装具の収納に適したものではなく、また、オリジナルを作成しようと業者に見積もりをかけてみましたが45万円と高額なものでした。

今回推薦します井上さんは、理学療法士の前職は建築会社で現場管理の仕事をしており、前職での経験から装具の収納に最適な棚の作成を提案してくれました。設計の段階から細部まで丁寧に、またそこには実際に装具を使用する理学療法士ならではの視点が盛り込まれ、使いやすく整頓できることが第一に考えられていました。そこには装具療法はもとより、装具を使いやすくする環境を整えることによって患者さんの回復に寄与したいという彼の熱い想いが込められたものでした。

ミリ単位で細かく計算された設計図をもとにホームセンターへの材料の買い出し、組み立て、塗装までを有志を集めて、陣頭指揮を執り、業務後に計画的に作業を進めることで、製作費は10万円以下に収めることができました。